

デフリンピックの東京開催を求める意見書

デフリンピックは、聴覚障害者のための国際的なスポーツ大会であり、2017年に開催された第23回夏季大会では、86か国から2,800名を超える選手が参加している。

パラリンピックよりも長い歴史を持つこの国際大会は、聴覚障害者の社会参加を促すとともに、聴覚障害への理解を深めることで、共生社会の構築に寄与するものである。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の興奮も冷めやらぬ中、来年には2025年に行われるデフリンピックの開催地が決定される見込みとなっている。

東京2020大会の開催経験や実績、大会のレガシーの活用、国際的な知名度、スタッフ・ボランティアの充実といった点を踏まえると、2025年のデフリンピックの開催地にふさわしいのは東京である。

よって、本区議会は、東京都に対し、デフリンピックの日本招致に当たり、東京都が開催地として承認されるよう、積極的な行動を求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和3年12月15日

江東区議会議長 榎本雄一

東京都知事 宛て